



古易病而卷之下

新井白蛾先生精蘊

附有雙齋先生遺言

富澤吉哉先生傳授

萬山 小林左傳授

三三

海山 小林左傳授

海山 小林左傳授

海山 小林左傳授



古易病斷卷之下

新井白蛾先生精蘊

附有斐齋先生遺言



富澤吉哉先生傳授

函山 小林左傳欽錄



咸

時氣感冒，性在，大，至，下，交，氣，小，元，氣，出，氣，下。

濕熱內伏，脾土化行，寒，食飲化。

四肢重ク、頭痛シ、腹中動悸アリテ、心痺、
痞滿、積聚、眩暈、肺氣極マリテ、逆シ、
亦惡寒、戰慄シ、或ハ小兒先天ノ餘熱、頭赤、
小瘡ノ類、治方邊々トノ機、便ヲ課ラブル、カレ
初、神氣不足ヨリ、上衝ワラク、反テ丹靈、虛之
血熱妄行シ、諸語ヲ發シ、時氣流行ノ
温病、又肝邪暴發ノ初メトス。○是レ又

交胎ノ始トス

二、勞瘵タチノ氣病ヲ、鬼角ブタクシテ、藥効

ナレトス

三、小兒疳方、飲食停滯シ、腸鳴、腹泄ノ下利

清散シモノ、赤下痢、便毒、濕熱、腫滿、黃疸ノ類

四、惡慮安定ナラズ、坎血結シテ、神氣脂濁トシ、身

胎毒、腎氣、惡毒、毒汗出、胸腹痛シ、骨節疼ハズ

五肝癘起り或八想フコ遠天積塊奔動ノ其
人事ヲ省ミザルノ類 肺カテ治方ヲ求ムベシ

上肺久上升ノ咽喉梅核口瘡舌疰ステ
上部ニアリテ府胃シ證候不定ノ劇症トシ又

長病ハ治スト見レテアリノ活境ナリ



恒

田祭政時ニ発シ五陽ニ陽ナリ氣也
成テアヤリ成ニ免欲ヲ見ルホホ

根氣ウカレテ漸クニ衰ヘ嚙マツメ氣ヲ病ノ類トシ又

酒色ノ勞後ヨリ山嵐ノ瘴氣ヲ受テ或ハ傷寒一
ニハ半年表半裏ノ症トス。産孕ニ亦始テアサトス
初忌風沈々トメ床ヲ離レズ或ハ陰症極マテ傷
證ニ似ルトス

二跌時治候ヲ誤ルベカラズ死活反掌ノ間ニ

アラシ

三血熱妄行シテ或ハ連ニ或ハ連テヤ躁ターズ

一旦少愈ニ廻クモ、再感ノ怖レテ虞スベシ

四、肝氣ノ本證ヲ顕ハシ、食欲度ニ過リテ、
ヤレ、腹張リテ躁狀止マザルナド

五、血氣厥冷シテ、水腫、泄瀉、或ハ冷水變アリテ
復血室ニ入ノ類、亦外癰血凝リテ陽神ヲ亡ハ
上、肝膽ニ邪氣ニ覆ハレシ上、今一層ノ技巧ヲ
添フ、尤モ危険ノ候トス

三三 避

即チハ治スルコトナシ、長クハ此トス、故
ニトツテナク、元氣衰シテ、危候トス

病進チク見ユルニ、油斷スベカキ、陰氣盛ニシテ
陽氣退避ス、一時ノ驚狀ヲ以テ、生涯ノ痼疾
ナスノ胎、胎凶兆、胸産ノ占ハ障リナキコトナリ、尤
産後ノ養ヲ保護スベシ

幼、藥用時宜ヲ失ヒ、今殆ンド危厲ノ證候トス、
早ニ良セ、ソコホルニマリ

二 中風半身不遂ニリ。破骨癰、橫痃、癰、瘰癧、ハ
歷節、瓜、痛、瓜、或ハ魚口、便毒、或ハ打撲、損傷、ノ
類、坎、時、ヲ、失、ハ、ス、療、ス、ベシ

二 四脉沉重ニム。少陰病ノ症ナド。只血味ニト欬シ。
或ハ吐、或惡阻ノ候トシ。又ハ温ニテ、臍、ル、ノ、類、陰、陽、ノ
傷、寒、甚、劇、ノ、者、ナ、ド、能、ソ、ノ、病、因、ヲ、詳、ニ、ス、ベシ
四 群腎ノ虚、腹ヨリ心下痞へ、或ハ欬、或ハ行

滯スルナド

五 欬、胸煩ヲ脱シ安ニ就シ、意アリ、口腹ノ欲ヲ
損ニ安全ヲ得ヘシ

上 坎、文、吉、凶、活、眼、ヲ、開、ク、ス、レ、ロ、傳

三三 大壯 大陽ニ又ハ肝ノ上、衝ノ垣ヲ越ヘ、屋ニ登リ、又ハ

強、猛、居、伏、ノ、憂、入、徹、慮、不、理、ノ、難、三、ヨリ、心、志、尚、々

ト、不、吉、塞、シ、或ハ自、過、自、失、ノ、病、因、ニ、ノ、古、吉、兆、ヲ

告ガタシ亦ハ天地教属ノ氣ヲ受或ハ奇病ノ
類又ハ脚氣衝心或ハ耳聾甘助寧子志シ瓜痛
眼疾又ハ痘瘡麻疹ナド坎卦危候多ク居ス
胎弱安カラズ臨産驚キヤレ危安シ

初意氣筑進メ其量ヲ顧ミズ或ハ酒食ニ傷
又ハ勞損シテ元氣ヲ銷燼シ發變患寒メ
身魁田蔓シ又ハ世上流行ノ諸病ノ類傳染メ

ナム或茶誤又霍乱吐瀉スルナド

二坎卦時外症マヌク募リテ却テ裏虛ノ證
候ト見エ

三邪氣ニ感冒メ小瘡ヲ發シ或ハ風冷ノ氣
反膚ニ入テ痺ヲヤシ又ハ抱瘡起服ノ時トス
其證更端能寒發虛實ヲ辨ズレ

四伏邪内ニアリテ神氣ミダレ顛狂ヲ發スルカ

能ク其因ヲ詳ニ診シテ、虛ヲ補ヒ、邪ヲ解シ、
塊ヲ安ニスルハ、亦功アリラン

五、兩腹痛、大小便秘、口焦枯、或ハ鬼語譫
言シ、或ハ陰上瘡ヲ生ジ、又ハ腎虛シテ、遺精
夢遺、又陰囊シメリ、瘡キノルイ

上、困厄危亡ノ時トス、然レモ不_レ死ノ神丹ヲ
得テ、天命ヲ保ツノ至平福アリラン

三三三 晉

顔重ク足乾ク、或ハ瘡疾、又ハ癆瘵、大傷若
外證、堅ニシテ、内傷、壅滯セントス

面赤ク、心中煩悶シテ、嘔噦シ、大便閉結、小便淋
濁シ、喉花、胃熱、頭痛、腹脹リ、脚虛シテ、
發湯ノ氣、昏沉メ、元氣ナク、或ハ時氣感冒ノ、
氣、變往來シ、鼻香臭ヲキカス、咽喉壅塞シ、
飲食良味ヲ知ラズルノ類トス、○胎孕、平ナリ

物、心火薰蒸ス、膈下隱々トシ、常ニ疼シ、或時ニ

酸劑ヲ用ヒ急功ヲ索ムカラス却テ増劇スニ
裕カニメ元氣ヲ助クルニ宜シ

二心痛、腎虛、脾胃虛冷ニメ食物化セズ

慎ニテ房帷ヲ戒メ嗜欲ヲ節スル 利アリ

三或六丹田ニ水ヲ注ダ如ク小腹冷痛ニテ

盜汗出テ腰間強ハリ硬ク相牽キ痛ム或ハ

耳目昏冒ノ精氣洞瀉ノ候此者自戒

慎ムテ悔ナカルベシ

四 晚飲違禁ヲテ毒氣勞損ニ或ハ時ナラヌ

物ヲ食シ又ハ不熟ノ硬物ニ傷ラレ胃中ニ壅

熱シ骨蒸ヲ兼テ食少ナク解ツカレ寒變ス

出テ四肢困憊スルノ症女子ハ月信必ズ期ヲ愆

マツトス

五 疫病愈候ヲ得テ漸若ニ向フノ時ナリ

○胎弱安シ。胸膈ハ達シ。急促ニメ誤ルヲカレ

上。肝氣亢アリテ脇肋痛シ。又ハ食傷吐瀉メ

頭痛ツロク。胸膈ヲ食ヲ欲セザルナド。○産安シ



明夷

病陽明ニテナリ。瘵病ノ頭。或ハ瘵毒濕。腹或ハ陰胃スベテ陰在ナリ。居ス。

心氣頓ハシク。身体何ナク困苦シ。寒熱往來シ

或ハ癆瘵。又ハ腎虛骨蒸ナド。婦人血虛ノ證

痛ヒ既ニ深シ。下元傷レテ濕毒曠シナス。○胎弱

不虞ノ恐レヤモ。出産平ナリ。

物解胃ツカレ。心氣虛。食化セス。下部冷痛シ

危長トス。○胎弱安シ。産後懐ムヘシ

二。濕熱内ニ攻テ身体ナヤシ。或ハ頭痛。眩暈

立ツテモ。又ハ腹ヲガヒニ。惡腫ヲ發スルナド。此時テ

疾矣。瘵スベシ。○産ハ達シ

三。平復ニ向フノ時トス。急速ノ治方ヲ求メズ

寛クシテ病根ヲ又クヘシ

四 積聚上リ攻テ難ムトス。腹中モメ或ハ鼓脹シ
亦羊久シキ持病ハ治スヲアリ。○胎弱重ク是
兒安シト人。懐ンデ兩全ヲ保テ

五 心思ノ勞極ヨリ三焦和セズ。鬱邪ノ、ニ
至テ盛ニ溢レ一身ニ亢セントス。危重ナリ

上 邪氣猛烈ニメ一身ニ亢ス。病状危篤トス。

坎_三於テ元陽ノ邪氣ト化シ。地下ニ沉墜セントス
懼ル。或ハ癩疾。癲狂ナト。

☵ 家人 酒色厚味ヨリ病因ヲナシテ。四傷ス。心氣ヲハナシ。類ニ屬シ。虛損ヲ致ス。

陽道虚レ癩レテ。精ステニ涸レ。虚發汗出テ。

或ハ勞瘵。腎虚。穀氣盛ニテ久。或ハ骨蒸然ナド。

小兒五疳。驚風。婦人諸病。氣虚ヲナシ。又ハ

房勞度ナク。種子ナキカ。○出産ノ占安シ

物陽邪賊風其間際ヲ得。又濕土四時ニ旺シテ
熱トナリ。寒トナリ。或ハ痢疾赤白相兼ルナド。
未ダ重キニ至ラヌ。早ク治方ヲ撰ハシ

二飲食美毒外ヨリ傷リ。妄慮勞志内氣
虚シ。心血カレテ肝火盛シテ。婦人ハ經閉。五心
煩熱。早ク医ヲ轉シ方策ヲ換ベシ。○臨産
邊シ時ノ至ルヲ待ベシ。或ハ流産等ノヤマラズ

三。元氣虚シ。肝火甚灼シ。鵝セト上リ攻。或ハ
耳鳴目カス。又ハ脚氣水腫ノ證。病邪湿
熱ヲカ子。種々ノ變症ヲ見ス。危重トス。女子ハ
血變妄行メ臭氣虚ス。○産ハ安シ

四。病重ケレバ。攻時ヲ失ハズ。正ニ應ズル治方ヲ

○産後安シ

五。腹痛シテ元氣引キ入ル如ク。急ニ少シ困厄ヲ

晚スルナド思フヲアラムナレト病候一変ヲ有ムトス
轉スルメ油断ナク治スベシ○産少シ違カルベシ

上或ハ陰陽兩感ノ證ニメ病ハ山トス氣寒イ

嗽スルヲ茂ヤモノハ治方ヲ得ベシ○産後ハコレマシ

☰☷ 腹 胎藏ニコレヲ火ニイテ及ム血氣暢ク又或ハ七情
内ニアテテ火逆ノヤム又且タニ大ナクモラシ

危急ヲ證候スル病因環ニ登リ崩ニ入り死ヲ予ヒ

能ク鬼怪卒厥客忤午足逆冷シ肌膚粟起

精神昏ラズ或ハ錯言妄語昏冒メ人夏ヲ知ヤル

者或ハ喘氣痰飲食傷又ハ時疫或ハ丹毒又

婦人ハ血暈或ハ惡阻ノ候トシ○胎弱ハ平ナリ又ハ

吐瀉兼テ誤手自ラ災ヲ招クモト總テ大病ト

云比尚治人ベキノ意アリ

物寒ニ理ト合併シテ下部ノ病ヲナシ未ダ

深カラズト云比違々トメ兼功ヲ見ルヲ違シ又

室女胎塞ノ、氣痛ヲ發スルノ類、危重トス
二、肺肝相搏テ胸中煩悶シ、或ハ氣積、食積
吐セス、浮ヒズ煩燥スルトス。○産婦驚カヤラシ
三、肺氣滿チ、心火虚シ、奔逆メ病困ノ極トス。
○胎弱邊ニ食物ヲ懷ムヘシ、但シ出產自ラ保
救セヨ招クナカレ

四、秋時危険ノ極トス。凡テ治方ヲ得ヘシ、産安シ
五、逆上ツヨク下冷ヘ、或ハ濕熱、寒々トス。心氣
ヲ口ヘ、又水氣上部マテ滿チ、息グルシク、危深トス。
怪ハハ奇癖ヲ發シ、又ハ踐坡ヲ垂シテ墮、毒ヲ受、
惣身ウヅキナヤムニ至ラン。一旦治スル、後發ス
貴テレバ腹ムヘシ。○産安カラズ

上、邪火炎々トメ、頭目昏冒シ、或ハ陰陽錯亂
シテ、幻中暗鬼ヲ見、妄心妄疑尤、危重ノ時ス。

病因酒色々々二骨肉枯羸スルヲ來ル故外病状

甚劇ノ疾多ク云凡能處レ得六宜ニキヲアリ

二二二二

寔是

濕熱内伏ル骨節疼痛スルヲ又腰痛或
腹中出カス或ハ中風解レバヤナルノ症トス

勞役ニスキ莫元ヲ耗損レ脾胃虛衰メ痰ヲ生シ

氣虛メ下陷シ或ハ房勞ニヨリ或ハ濕土ニヨリ

身重ク又ハ生冷水湿ノ物ヲ食シ或ハ房事味醇酒

三焦ニ停リ或ハ山嵐ノ瘴氣ニ雨湿ヲ交ケテ

或ハ速行シテ水ヲ涉リ或ハ湿地ニ住居シテ脚膝

浮腫シ或ハ吐レ又瀉シ留飲喘滿或ハ寒寒シ

發熱ス或ハ脇下冷汗ヲ流シ或ハ痲氣鬱集

外癰諸痛亦膀胱所屬ノ滯滯婦人ハ經水

變テラニ胎動不安ナリト云凡クレテヤシララン

初因學メ心志ツカレ亦ハ久堅メ變テ對スル

ナドヨリ脊背痛ニ勞極メ房事入ノ類ヨリ秋

因ヲナス。今病急変アラントス。医療惰怠ナリカレ

○産平ナリ

二 風濕或ハ脚氣上衝セントス。慎ムニシ

三 濁氣邪火ニ擾動シテ。腎氣安穩ナラ

マタハス。病積腰ヨリヒキツリ痛ミ。危重ノ時ス

急ヒテ治ラズホムベシ。遺ケテ治セズ

四 思想迷ズ。嗜欲空窮ヲス。心膺共ニ虚セテ

遺精夢遺。或ハ上盛ニ下虚マ。血氣ニ其ノナキ

受喘ノ中ニ。血交ヲ出ツルナド

五 痰血病ヲシテ。轉側ニ痛ミ。邪氣ニ勝メ

眩冒。怔忡。動作カタク。脚腎ノ和セザリコト

上病狀。因寒或ハ二擾マレ。又極シハ通ズ。反シテ

康復ノ物ナトス。活脈ナリ。産メ女シ

二 醉飽シテ風寒ニ感ジ或ハ心氣ヲ腦マシテ
胸中ニ塊塞シ日氣行ラズメ氣中ヲ登スル
下七情ヲ節シ酒色ヲ遠キ慎ムシ反テ冰
針臭氣不用ノ意ニハ病急變ヲ豫メ防ク
ヘシ○胎動不安ノ下久凡虚癆為ラシ

三 邪氣盈満シ覆リ溢アリテ證候往来
定マラズ或ハ食傷霍乱吐下シ瀉セントス

四 腎氣虚メ心氣ツカレ脾胃ニ濕氣マツテ
邪氣上冲テ厥病生リ或ハ風邪行脚ノ二證ニ
入り潮氣逆エテ苦熱マズ中風ノ諸症若シ是
論不仁ハ赤ア要環ニ又遺便ナシ○虚不妄

五 頭痛甚シキに至リテハ眩メ舟車ノ上ニ在ルカヤト
此處ノ風邪ノ肝ヲ襲ニ因テ之病證重キ云死治ニ
向フキス良治ヲ求ムヘシの症ナヤモアツル

上 甚タ危篤トス。然レモ攻毒ヲ能ク保チテ。

少時スレバ固難解散ノ治ス。○產家安



損

坤金氣化ヲ主リ。將レ上運テ主レハ
今氣血不足メ。精固且タノニアラズ。

氣カレ。精血虧損シ。悲思憂恚ニヨリ。上ニ

盛ニ下虛ニ。五穀ヲ熟留シ。精微ヲ變化ス。

トス。或ハ房勞。腎虛。酒毒。內攻。咳嗽。朝胃。

槌志。傷尸。勞瘵。又ハ婦人血暈。日傷。刺。驚。驚。驚。驚。

ハ。瘵。重。色。成。ハ。又。又。混。ホ。ヲ。食。セ。レ。ト。食。下。中。中。ク

食。物。ヲ。レ。附。ケ。ベ。シ。胃。味。必。ス。害。アリ。○胎。孕

女。シ

初 病。困。已。ニ。深。シ。逆。ニ。治。方。ヲ。求。ム。テ。急。危。下

テ。レ。バ。長。ト。云。正。治。ス。シ。○產。少。シ。キ。ヤ。ミ。ア。ラ。シ。

初。生。ノ。兒。胎。毒。ヲ。解。ス。テ。專。要。ナ。リ。世。間

ニ。レ。バ。後。ニ。諸。病。ノ。本。ト。ナル。ベ。シ。○後。世。間

二肺肝此二動キテ、頭痛、寒熱、逆上、嘔ク、
舌上胎ヲ着ケ、邪火母ニ攻メ、腹部チチテ
安カラス、或ハ牙齦疼痛スルノ類、長ニシテ
治方、火ヲ泻シ、肝ヲ平ケルニ宜シ。胎弱チ
早リトスレ、遲キ程、主ロ、急クカラス。

三坎時、養生少シモ、テモ適トサレハ、元氣純
損メ、諸症ニ傳變ビトス。長ケレ、此治方、
又婦人受胎ノ始、此取リ、清濁ヲ有ス。

四釜下火ナク、水ヲ添ル如ク、陰邪熱ニ陰
陽寒異メ、病因深シ。良薬ヲ探シ、攝生ノ道
理ヲ決メ、誤ラズ、憂患ヲ免ルベシ。○産後シ

五虚熱灼カ如ク、惡風メ、心氣沈黙、或ハ煩渴
シテ煩シ、或ハ自汗メ、亡陽ノ症ナリ。又ハ發熱シ
或ハ動氣メ、病狀凶謹、方キトス。

上 勞損極まりテ復益ヲ受ルノ時トスレバ右
不養生ナレバ再発スベシ○産後ニナヤマラン
但食物ヲ慎ムベシ



益

益陽相濟也相持テ財氣衆多也
家説又婦人血氣不足也

胃冒メ精神恍惚トシ或ハ寒ヤ或ハ躁ヤ或
胃虚損メ元氣ツカレ積滯又痺疾或ハ
又胸病痔漏床土ニ安ニセハ婦人清濁又
帶下ルル膝理容ナラズメ邪氣ニ感ニ安レトス

胎弱安シ

物動作常ニ反テ瓜合ノ氣三焦ニ歸シ脾胃
ニ傳ヘ病狀ヲ見ハス或ハ腰痛痲痺病又ハ往來寒
熱一身悉ク痛ト發黃ト又ハ風濕アヒ搏チ呼吸
短促ト接續スルヲアズズ汗出テ小便利セズ
又ハ腸鳴瘕泄ナド危重トス○産卒ナレバ産後

心附べし

二邪氣既ニ深レ或ハ中湿又ハ中着或眼
痛肝木肺金相尅多虚火上衝又脚氣腫滿
在諸邪雜實メ危陰ノ寸トス○虚安レ

三攻時更ニ枝ノ劇症ヲ添ヘ煩燥苦悶シテ
大陽傷寒ノ證ノ如クナラン去レ陰症ニ屬ヒシ
長ヒキテ藥的中ヲ避カズ屢々医ヲ轉スル

尤セ宜シロラス○胎弱平ナリ

四脾胃虚シテ肌肉滿ズ大風苛毒虚々衆ヲ

入ル胸膈中動悸ツヨク腰脚疼ヒ筋骨痛シ

或ハ虚體支体困艱シ心忪筋寒スルナド病狀

吐吸正安カラズ

五攻時藏氣漸ク和シ心氣中實セテ下ス機

関ヲ失フヲナク治テ施メ天掾永ク保ツベシ

上 濕毒水腫。或ハ頭重ク。又ハ頭痛。時候ヲ
ヤミ。陰陽侵奪ノ。寒熱往來ニ。耳目昏冒ノ。
心氣滯溺セントス。攻時治方。夫着ナケレバ。不治
○症家難ニヤリ

三三三

夫

子ノ新田ニ因テ治所ス。或ハ陽證ノ
變ハ合ニシテ又ハ陰證ノ怪疾身チリ

痰。美。壅。塞。ノ。食。飲。進。マ。ス。恐。寒。戰。慄。或。ハ。中。毒。
濕。腫。疥。癬。肺。癰。諸。病。甚。劇。ノ。候。妻。ヤ。居。テ。

陰。陰。陰。リ。ナ。ド。云。レ。産。後。復。ム。シ。或。ハ。狂。行。
不。嘔。又。ハ。逆。所。メ。姓。像。ニ。疑。ハ。キ。ト。

切。癰。狀。定。マ。ス。又。或。ハ。身。撲。損。傷。ノ。數。以。射。ニ。能。
療。治。量。レ。ハ。長。ロ。キ。テ。大。病。ニ。至。ラ。シ。○。胎。弱。安。キ。又。

或ハ産後ノヤミイラン

二。卒。然。ト。ス。寒。熱。メ。頭。痛。甚。ケ。レ。又。或ハ。傷。暑。ノ。六。

瀉。病。癰。疾。中。風。ト。ド。又。ハ。陽。病。ニ。メ。時。マ。ス。ク。ワ。カ。レ。

古陽病新

卷下

生々不息ノ氣飄散セシメ、執レ倉卒膏受
變イテトス、驚懼ノ極ハセシ○症ハ七女シ

三、邪氣溢レ、邪氣益テ、病勢盛テ、或ハ毒氣

怒リテ、人ノ罵リ、狂瀆ニ類シ、面部血色ナク、

亡ノ相ヲ見ハサン、病呂凶兆○喘息安カヘシ、逆

四、上逆癰、鬱胃メテ、氣滯シ、又ハ腎癰、或ハ

痔疾、淋病、消渴、湿瘡ノ類○症ナセテ、

五、以、治方、急連ニ宜テ、猛劑ヲ以テ、

急、必ス不虞ク、交ニシ、唯、時、氣、感、冒、等ノ

余、懼、ヲ、防、キ、思、慮、ヲ、着、キ、獨、ヲ、慎、ム、

上、毒、毒、結、果、ノ、処、ニ、モ、尤、危、急、ノ、時、ト、ス

始 凡、部、分、於、ト、欲、リ、シ、難、ク、リ、病、々、大、才、ニ、連、

脚、膝、麻、痺、メ、カ、ナ、ク、身、痛、ニ、莫、氣、不、足、ニ、モ、病、勢、甚

得、ク、逆、勢、熾、ニ、歸、キ、肺、金、ヲ、ナ、シ、傷、シ、ト、ス、病、因、酒、色

時氣起居節ナラザルヨリ、コレ來ル、或ハ肝氣ヲ
胸下滿テ、痛ミ小腹ニヒキ、或ハ濕毒ヲ三伏シテ、
脱肛、痔疾、又ハ陰痿、或ハ婦人子宮虛
冷ニメ、種子ナク、又ハ諸疾ヲナス。○胎弱平
或ハ月足ラズメ生ル、フアラシ

幼病體見トナラズ、或ハ妖氣、靈祟、又ハ奇病、
外症、狂烈ニメ、元氣沉昏シ、邪氣日々ニ

進、○胎弱、安カラズ、難ニマルベシ、息カニ生レシ
フヲセ、凶地トス

二、燥、雙メ下利シ、支体重ク、或ハ浮キ、老若
如ク、足地ニ付ズ、上盛ニナリ、皮色ヲ滑ニ治ス、
然レ養生息タレバ、息衰アルベシ。○胎弱、安
カラズ、胸産ノ占ハ平ナリ

三、坎時、夢遺、鬼交ナド、體アリテ、血虛、勞役

内外見症ヲ異ニス。或ハ下疳。便毒ホノヤヤ。
吐血。崩血ナドノ壞病ナラシ。長ケレバ。治シシ
○産ハ安シ

四 病態進カ如ク。又退ゾクカ如ク。アラゲトメ
蒸氣効ヲ得。カタシ。或時療用タカヒヌレバ。
多ク治シガタシ。○産大凶ナリ

五 別ニ外邪ニ襲ヒテ。今病狀一變シ。凶兆

ヲ言ハ。守チニ保護ス。日ヲ過ハ。月ヲ越ルニ至ラバ。
治ニ向ヌシ。○胎弱平

上 逆氣叢ニ至ラ。解スルノ時ヲ失シ。医亦皆
當ニテ。病狀イデダ。垢シナリ。容易ノフニヤラズ。
○胎弱吉。出産トカヘ。所シクナヤシナラン

二三 孕 飲食停滯ニ。痰喘。咳嗽。制乳
ス。ナリ。胎氣ホトニ伏ル。ナリ。ヤムノイ
血滯ニ。藏氣安ナラズ。或ハ腹痛。水

古病論 卷下 胎前

腫鼓脹積聚痞硬留氣動悸或食不
吐利煩作小兒諸病脾虛者煎然
至之病危重者長之終之治之
潰爛之凡治効ヲ得シ緩カニ治ヲ變ヘシ
胎弱平

物生質虛弱トシテ酸ミテ導致心ニマセム
解胃ヲ慥キシ氣血ノ本ヲ損クハ腹ノ滋養ヲ
省クシテ胎弱安

三 金水相生セズ腎氣薄ク根氣ナク腰痛
血氣下部冷痛シ陰囊ヒキツリ痛ムト
化源ノ治ヲ得ハ終ニ治セシ○産難ニシレト安
三 飲食進マズ梢カスレハ発汗シウレ如ケバ
喘シ寒暑ニマケ心氣ウキトス日ナク

健忘、驚悸、或ハ陽萎、又ハ遺精、又ハ功
衰、或ハ此夢トス。○胎動不安

四、歌逆メ邪氣盛シテ、治方ヲ得カズ、候

トス。○產遲ケレバ、際リナシ

五、坎時、病候、危險多シ、恐怖メ屢、藥ヲ轉

スルヲ宜シカラズ。○胎動不安ニト、斷ズ

上、陰陽否塞シ、邪氣ト元氣ト、互ニ愆レテ

人ノ時トス、危重ノ極トスレバ、反テ日數ヲ逢、又

月ヲ過シ、治ニ向シ。○產時、ト女カラズ

分先自出来不出來ナリテ、治難ク得ガタム。或
段在ニ人場長ニ候、今ノ體候トシテ、

横行ノ志ヲ志シ、勞役ノ房ニ入り、或ハ久敷ノ

術、興陽ノ方ヲ用ヒ、内七情ニ傷リ、外ニ風寒

暑淫ニ感シ、或ハ勞瘵、腎虛、中風、痲痺、又ハ

傷寒、中暑ノ類、或ハ增寒、壯熱、或ハ日昏眩

胸膈痞滿。脇肋腰背イタシ。或ハ麻痺不仁。
然トモ元氣ナク。腹中ニ塊アリテ動搖シ。時ニ
ナレニ。又ハ痼癥卒然トノ昏倒シ。脚氣ニテ
衝心スレナド。○胎弱平ナリ

初病狀長ク危シ。能病元ノ淺深ト。元氣ノ
虛實トヲ察スベシ。○產婦ハ安

二積塊心下ニ上リ攻メ脚氣ニテ衝心セント

スルカ。治方邪氣ニカタヌ。危篤トス。○產安

二病勢悍多ク言山兩岐ノ時トス。胎弱安

太ナカラ。養生ヲ修セザル。難ク産セシ

四暴発ノ急變アラシカ。慎ミシ。久病ハ危重

産安シ

五真氣ヲトロヘテ。夢ニ鬼ト交リ。白濁ヲ患ヒ

スルカ。執レ劣病ニメ危長トス。深ク慎ミシ。○産

九

女カラズ

上或ハ癰狀ニ比シ又ハ肝證ニ類シ且勞損ノ諸病又ハ慾心萌メ憂ズ陽症ヲナスカ或ハ打撲湯火損傷ナリヨリ氣血行マズ病因ノ作ス冥升ノ時吉凶活斷



困

下卦ノ巽ニ上ニ兌ニ合シ陰陽易ナリ

肺管ヨリ脾腎ニ至キ邪氣ヲ閉ス

營衛正和セズ或ハ冷物ニ傷ケレ濕氣ヲ受肌膚腐爛瘦ム下冷ハ上熱シ口舌咽喉ノ澁ヲ見ハシ或ハ小腹絞痛メ下利頓作シ卧ラヌクム元陽虛乏スルトス良診ノ治ヲ待テ重厄ヲ免ルコトヲ望シ○胎孕難ニアレビ後安シ

初舊疾ノ沈痾起ワコト々ハ二便難澁ニ或

腎藏、或ハ牙齒ノ痛ニ手ヲ束テテ因苦ニ堅ク
類、痔疾下血、或ハ婦人赤白帶下崩漏ニト
二、或ハ肥ヘ、或ハ瘦セ、多食テ又饑ル、ル、一ノ胎弱
安ヘ、又惡阻ノ候トス

三、或ハ耳病、又ハ眼疾、雀眼トド、胎弱トマニ
アリ、靜カニシテ待ベシ、急カテシト欲スレバ、過アリ
四、或ハ元氣ツカレ、胃ノ氣日々ニ減シ、食スル

少ナクメ、思慮煩ハシク、勞困窮厄ノ秋、一ニ
草根樹皮ノ能医スル処ニアラス、病久産婦
異證アリシ、往昔諸葛武侯、疾證ニ速クメ、
忠規止マラス、十歳ノ後、人ヲメ嗟嘆セシム
五、痰喘、吮逆、或ハ肝癰ナド、長病ハ治ニ向フ
新病ハ危ニ至ラン、○産安ニ

上、困窮マリテ過メ、久病治スヘキ、意々、一ニ治セシ

一ノ深ハベカラス。元氣ヲ助ケ、氣血循環セシメ、
治方ヲ得ハ、復スベシ。○胎動安ニ違マ、一ヲ
二トス、必クヘカラス。



井

巽上ノ心氣モ、昏習ノ神清カラス。或ハ此
世ハハ理變、理尚ノ毎日、ハハ皆能クナド

藏氣調ハズ、或ハ食物ニ傷ラレ、寒邪ニ感シ、病
破産ニ属シテ危篤ノ候多シ。或ハ動悸、怔忡、
或ハ身体困倦、四肢重ク、又ハ泄瀉、洞泄、下痢、

疝氣、又ハ陰囊シテ、癢ヤナド、婦人帯下、類

胎動ナシニヤラシ、月ヲ定ルハ安シ

物、虚寒少氣ニメ、腹痛、或ハ虚煩ニメ、服ラズ、
又淋病消渴ト、病危長テ治カクナシ。○胎動
安カラス

二 濕毒ヲ逆上シ、又塞ヤ、心下痞硬シ、下疳、又
便毒、下血ノ症ナド

三 厥陰ニ属シテ、気病、水腫、湿毒、疰、瘰癧、疥、癩、奇病ト瘵セシ意アリ、或ハ腫物ヲ發セシ、死ニ至レ
治ニ遠シ○産難ヲシ

四 吐瀉止マザルカ、或ハ腹中積塊アリテ、衝心
スカ、往來反覆メ病大ニ動ク、セルニ治効アラシ
五 耳鳴リ、目カスニ、齒動キ、痛ム、治方アラシ、或ハ
小兒痘瘡、胎毒ノ類

上 此藥ヨリ愈患候ヲ得シトス、然レニ輕卒ニテ
坂シテ不養生アサテハ、外邪ニ感ビテ余症ヲ
發シ、長ビクベシ

三三三

甘草

新日ヲ向テ、才狀受聲ノ時トシ、虎生ノ
間テ、タタニ以テ、數日ヲ保テ、又治スルヲアラシ

病狀定マラス、治方緊要ノ時ナリ、或ハ上
逆メ眩暈シ、寒熱メ口渴ニ古上胎アリテ
飲食進マズ、又ハ發汗メ亡陽ト煩燥ノ狂氣ニ

類ニ武ハ驚詰聲又ハ痰喘壅塞シテ
危險ノ候多カラニ又ハ裏發外寒内損メ
酒毒腎虛ナド臨産ウレホニアレバ安シ
初伏邪發動ノ或ハ傷寒瘧疾癰疽又ハ
疔瘡又濕熱脾胃ニ入テ黃疸ヲナシ或ハ
眼病ノ類吉凶活斷ニテアリ
二病勢増劇メ危重トス投劑銀マリアレバ

襖ニカタシ○産安シ臨月ヨリ早ク生ル
三此又病候變革ノ時吉凶ノ境
四肺金銷燄メ孝ニ改革ノ證據生命接濟
之機関トス前医ヲ轉シ良医ヲ迎ヘテ天命
保ソベシ

五元氣ヲトロヘシ上思慮ヲ曾スルヲアリテ病危
号々言祥ヲ告カタキニ居ス

上更ニ坎節ノ時氣ニ感冒メ益々劇シク見ユ

ベシ或ハ熱毒盛シニメ傳洩スルノ證ナドナシ

危重トス○胎乃十マミアリテ遂カラシ

☲☲ 鼎 其身ノ不養生ヨリ氣血衰敗ノ才根ヲナシ
或ハ根ト歟ト合併ハ甚ハ胎前ニ六治法ニ使ヒ

邪火蒸々トメ真氣ツカレ腎水涸ト或ハ胎前

ニ喜怒悲愁ニ常ニ動悸ソコク腰裏モテ膝

脚痛ミ或ハ毒リニ興陽ノ後劑ヲ服メ益々

虚ニ或ハ中風亦ヨイクト云病 類中ノ境ニメ
飲食等ノ如ク

貧血情ニテフヒクニナリ行疾オヤマラズル如ク
ニ毒人トナルモノ多シ是ニ惡毒不養生ヨリナスノ症ナリ

或ハ肝證又瘡毒婦人血暈ノ類○胎乃ハ

初ニ三月ノ占ニ得レバ凶或ハ胎ヲナサズ臨産

安ト斷ス

初産發メ嘔逆シ或ハ食ヌレヒ吐メ救マラズ又

脐下張リ痛ミ又暈死ヒキツリ又シキリニ疫

若陽病初 卷下 九

ナド○産邊ク女カフズ

二 濕邪ニ襲ハレテ身重ク又痛ニ嘔逆脹滿レ陽
氣之シテ癩聚心下ニヤシコムナド凶也○産安
三 以時危篤ナリト云レ日教十日ヲ過バ終ニ
吉ヲ得レテアラシ口傳産ヤスシ

四 上逆甚クシテ邪氣散漫メ反掌ノ傾覆
不言ノ凶ヲ慮ス入ベシ或ハ打撲損傷スル血

凝滯シテ成ヌノ因アラシ○胎弱安シ産後慎ム

五 病症少シク鎮マリタル如シト云ハレ邪氣

未ダ解セズ危トス若手足冷ルヲ覺ハ

薬用怠タルヘカス○産期ヤズメ生ルコトアラシ

上 此時の薬ヲ得テ念息候ヲ得ベシトス

然レ急ニ治セテヲ求メテ誤リニ医ヲ換又

方ヲ轉ズルハ元吉ヲ告ガタシ○臨産吉



震

明本解云ラ此ハ在大過ニシテ邪氣暴發ノ左右
ノ驚々スレテノ劇證也凡テ大知ニ事ヲ用スベシ

頭痛又身發シ敗節痛シ便閉ア嘔逆シ脚痛ア
腫滿シ或ハ枯細ニメ脚氣ノ證ヲナシ又ハ癆瘵シテ
惡寒惡風腰脊強ク痛シ目イタシ鼈乾ヤ脈ヲズ
臨助痛シ耳聾傷寒ノ表證ナド竜角ニシテハ
シク病證見タリ兼或ハ氣令動靜定マラズ
常ニ變リテ清潔ナルヲ好ミ人ヲ嫌シ言語或ハ

高ク又ハ低ク喜怒悲愁シ躁妄禁暴ビテ肝氣

癡狂ノ症又ハ目疾耳痛轉筋病氣或ハ積氣

癰疾癩病婦人乳痛血變妄行鍾水過來過

漸ホスベテ外候重シト云也囉レ慎ミテ保護スル

凡ハ治方ヲ燭シ胎弱用心スベシ臨産障リナシ

初脚氣衝心セントシスベテ漸々ニ増劇セトス

治方怠タルベカラス○産安シ

二 色情・想思・遂々・胎塞ノ氣・變動シテ、
病狀・躁シク・厲トス。○産室シ難キアリ

三 熱毒盛ニテ、或ハ垣ヲ踰、屋ニ上リ、又高キニ登リテ、
歌ヒ、衣ヲ弁テ走ルケド、不治危険ノ候トスレドモ、
命根未ダ絶ズ、良医ヲ得テ、治方の中スル内ハ、邪
漸解メ、腹息ノ天幸アラシ。○胎動驚フノ防ヤ
解カニスベシ

四 邪氣ノタメニ、滋毒セラレテ、真氣伸ズ、且治ニ向ヒ、

再発ヲ慎ムベシ。○産安ト云ヒ、避キテアラシ

五 危篤ト云ヒ、性命保ツベシ。○胎動安シ、食物ヲ

ツ、レムベシ

上 證候美ニ至リテ、究マリ、瘵化ヲ會ム或ハ上達メ

頭痛甚ダシク、虫齒ウツキ、疼ムナド。○胎動

ナヤミヤラン



艮

山止山止 艮之象也 艮者 止也 止之於山 故曰 艮 山 止也 止之於山 故曰 艮 山 止也 止之於山 故曰 艮 山 止也

病因起居節ナク酒色ニ溺レ或ハ心ヲ勞シ
カヲヲ尽シテ元氣ツカレ脾胃衰ヘテ穀氣
和セズ精神昏々トメ何トナク塞ギ肩脊張リ
痛又癩聚痞滿内損ノ類病其身ニ止マリテ
長ク治ヲ得カクシ○妊婦少シ難ヤレト安
出産遲シ

初 内外中湿ヨリ瘧火ヲ生シ厚味醇酒
停リ脚膝痛ニ頭重ク或ハ身体浮腫冬痢
疾裏急後重ホ此時ヲ油断スレバ危重ニ
至ラニ早ク療ズベシ○産安レ

二 病大羊山北トス慎ヘシ小児ハ蟲症ナリ治療
三 四ヶ月ノ比筮メ得レハ凶ナリ

三心氣ヲヤシ腎虛ノ腰痛ニ下冷ヲ上部ニ邪氣

アリマシ或ハ下疳便毒淋病行步艱ハノ類ナド

○産平ナレ氏胞衣滯ルヲアラントス

四邪氣一身ニ滿溢メ病體容易ノヲニアラズ

免候ナリ○産平ナリ

五以時表邪盛シメ内益々ツカル飲食服藥

尤忌消へ重ク危シク胎孕安カ

上今一層ノ余症ヲ重テ胃ノ氣大ニ衰テ病候

治方ヲ得カタヤニ居ス○産過上少シヤニアラン



漸

濕邪留滯ノ氣血并降錯乱ハ漸々ニ大病
絶合トス候時治方ヲ得カタヤニ居ス

將腎元ニ衰ヘテ心火熾ニ肝邪亢ニシテ盛ニ

下虛メ飲食停滯或ハ下利清穀レ腰脚重メ

身体憊レ逆上メ口舌クワレナヤマナド病呂油漸スレ

以ハ山北○胎動ノ呂ハ安養ナリ

物吹又病根イマダ深カラズ早ク療セテ治セ
至ルベシ或ハ親屬ノ中和ス又憂鬱アリテ肝血ヲ
損スルテ小兒食慾脾胃虚テ元氣ナキニ胎動不安
邊ク比急ニ求ムヘカラズ

二 口腹ノ滋味ヨリ氣弱メ伸ズ胃腸脹リ痛シ又ハ
燥熱或ハ内濕毒氣ヲ受テ皮膚瘡ヲククト腫レタ
テト症療安カラズ○産安シ

三 慾ヲ誅ニシテ精ヲ揚リ或ハ行立足弱ク又ハ
陰汗痿痺心氣怠惰又卧リテ多ク或婦人
密ニ陰寒ノ石菖ヲ服メ病因トナルテ慎ミシ
總メ吉兆ナラズ

四 病凶危ノ時トスレモ又安キニ就ノ意アリ治
候ヲ失フヘカラズ○胎息平

五 大抵危長ノ證トスレモ治方鵠申共愈候テ

得シ然レ死邊シ婦人經閉陰中虛冷ノ症
胎動難ミテラン或ハ小産ノ意アリ

上惡心メ吐セテ或ハ痞硬腹中塊物アリテ赤レ
又ハ憂鬱メ脾土ノ化行ヲ塞ヤ食子レズ病狀
危シトモ死助ケテ得ルノ意アレバ良医ヲ求ムベシ又
胎動難シテ邊カラシ常々身持重ヲ失レテ
調息慎ムス真陰守ラザルヨリ來ル

〇〇〇〇

歸妹

咸氣中氣ノ三焦大ニモソ百病皆切ラ見ガク
此ノ象ヲシテヨリ居ルニ死餘毒未則ナクス

榮衛凡ニマダレ氣血滯聚ノ度ヲ多クハ或ハ化前
月下相思ノ情違ス或ハ酒毒腐腸又ハ滋果
食傷或ハ蠟眉伐性等等蓄孽爰ニ動キ精神
鬱塞メ萬事心ニカヘリ又ハ根切ナキテニ毛深ク勞
屈レテ真氣備テテ兼用恰也也疾痼不死ノ
證トナラン即病治方ヲ撰ムレテ產平ナリ

初、輕病ニ見エルル。攻時ニツ、レミ大切ニスベシ。治方
順シヤラン。○産安シトイヘル。或ハ兒病ナラハラン

二、物メノ治候ヲ失ヒテ、攻時治シ方タキノ體差
若ス。○胎弱ナヤミヲ含ムトス。臨月ニ及テ、筈ニ
得レバ、反テ凶女シトス。

三、肺肝毒動メ、邪氣上騰シ、病状長ワメ
治シガタキ意、謹ムヘシ。○産安カスス。

四、前幣ノ薬毒、攻痛根ヲナス。療用時ヲ過テ、進下

云ル。猶治候ヲ得ベシ。或ハ時氣又水エニ服セサル上ノ
勞役ヨリヤムカ。○臨産安レ。

五、病態長ビキテ、快候ヲ得カタシ。○胎弱平

上、氣血既ニ賤ケテ、提カナク、真氣將ニロカレント
シテ、大ニ恐レテリトスレバ、治スヘシ。○産安カラズ。



蠱豆 折氣盛テ、レヲ強テ、不真ノ危厲ヲ含ムトス。
或ハ血候不定メ、治難ヲ得カタシ。

酒毒腸胃ヲ汚シ。房勞脾胃ヲ潤ス。肝氣コレヲ
目ニ精光ナク。神色暇シ。齒マツメ糸マデ。環細ノコモ
憂悶シ。或ハ肝邪暴逆メ人ヲ叱咤シ。器物ヲ壞シ。
却テ後悔シ。或ハ幽林僻地ノ寺觀ニ詣テ。瘞ヲ
患疾シ。或ハ湿氣筋脈ニ入テ脚膝痛シ。又ハ腫脹シ。
又ハ宮人處女。心氣陰陰メテ。クノ煩ヲテド。又ハ服
病婦人血崩。子テマノ類。○胎動艱ニアレレ。終ニ安

産後懐ムヘシ

物弱態甚ダ危トイヘレ。助ケテ薄レノ意アレレ。此ヲ

求ムシ。尤良診ヲ得バ。旬日ノ内ニ治效ヲ見コトシテ

○淫汗ナレレ。或ハ遺精ヲアラシ

二 押氣昏ノ。或ハ眩暈。又ハ胃痛。勞瘵。又瘵ト云フ

口中壞シ。上逆ヲヨク。肺邪盛ナリ。病占凶多シアレレ

外見ノ腫物ナドハ治スヘシ。○胎動ナシト云フ。靜ニシテ

症始ノ心ヲ寛ラス

三 元陽邪氣ニ蔽障セラレテ昏々嘿々トシ危篤ノ

證候トス或ハ折傷怪我ノ類○産安カラズ

四 脾胃ワカレ心氣難ニ物ヲラテ身ニ覆ヒカレ

マウニテ形情氏ニ衰テス凶トスレモ攻程ヲ保テテ

析ル天章ノ急候ヲ得ルコトヲ○胎弱ノ

五 此ニ至テ不慮ノ急変ヲ防グベシ保護シ得テ

免レバ治ニ向フノ慶蕃マラン○胎弱ノ

上 肝火上逆ノ極ニシテ真氣浮沈ノ途トシ危極

其上病人口ヨリシ身ヨリテ余症ヲ察シテ自ら

敗亡ノ兆ヲヒクトス

☰☷

旅

卦ハ格別ノ事ニ見ヘテ凶多吉少ノ象ニシテ今觀ニ不治ノ
證トナラズトス其月分段不養止ヨリヒト出ス

寒熱往來メ頭暈強ク支林困沈シ飲食口ニ空

濕邪得ニ蒸シテ下部ノ諸病ヲ乘シ思慮定

女子無益ノヲニ管シテ胸膈痛ミ火ノ物ニ虎キテ燃ルト
云此物冬レバ急テ期ヲ失ヒテ暗キ如ク病状危篤トス
シ胎動ワレク難ミアラシレバ安シ産後慎ムベシ

初 其身ノ不養生ヨリ病因ヲ結ビナシテ或ハ大便出
殘カ如クヲ急テ患寒戰慄シ或ハ又脚痛ミイノコ
律ニ下濕邪來リ犯スノ症○胎動安シト云此
毒勞ヲ慎ムベシ

二 腹部ニ勞邪アリテ動作當テズ遂ニトシテ
危重ノ候トスレバ良劑ヲ撰ミ索メ馮ルニナリ○
胎動遂シトス

三 病態モニム一變モ六音外ノ怖レテ○出産
子ハ安ク母寧カラサルノ意アリ

四 心氣大ヒニツラレテ根本虛ス見ル矢ノ容赫ツノミ
深ニテ治療普モ辭リテハ後悔スベシ

五 邪氣滿盈人危トイハレ良医ノ救ヲ得ルハ
再生ノ榮命トス然レモ長ク之ニ○産干

上 坎爻憂喜反掌ノ間ナリテ危険ノ時トス
速ニ居ヲ轉シ医ヲ改メテ慎ミ守ルハ愈候ヲ
得シ○産安穩ナラザル意トス



巽

坎爻ノ産メテ胎間深クシテ危候ヲ得ル
是ハ及テ増劇シ成テ産前之危候ノ候トス

陽邪伏陰ニシテ産候定次トス或ハ裏腹燥

急ニ舌乾キ或ハカク令シ思慮ヲ劣テ胎中ニ
倦怠レ時ニ太息シ或ハ嘔吐シ又卒然ト人屬下シ
或ハ宮婦室女所欲違ヤル時ナリ氣虚メ
濕邪ヲ交肥滿ノ如ク腫レ血ノ道揃環ヒズシテ
月水適來通断ナド○胎動ノ可否ヲ問ハ或ハ
婦メズ臨産ノトコハ平和ナリ

物病狀此時ヲ失ハズ治ヲ勸ムベシ或ハ腰脚モ

風雨寒暑ノ湿氣ニ感メ、飲食男女ノ大怒暴氣ヲ
損シ、留飲痰癖、心煩、痞悶、惡寒、或懷邪氣、逆上
シテ、伏菊曼ニ現ル。突進ス。危篤ノ候アリト云ビ。
治スベキノ兆マラン。食物ヲ慎ミ、養生シテ治カフ
得ベシ。○胎弱安シ

物滋養ヲ省キ、蛾眉ヲ遠サケ、私念ノ係累カフ
絶テ治テス。○胎弱安シ

二 脚肝ト搏テ逆氣ニ下冷テ筋骨ヲ急シ、腹
脹リ痛ム。能クノ證候ヲ辨カズ。治テ求ムベシ。大ニ思ヒ
録マシテアリテ、後ノ患トナラシメ。○産安シ

三日敗立グタヒ、惡心煩憂、或ハ酒毒傷勞ナリ。
諸病腎部ニ屬スル症、或ハ密ニ不義不正ノ
業ヲ服メ、一時ニ急切ヲ求ムル類、毒氣内ニ生
病態ヲ結ビナス。○胎弱安シ。後ヲ慎ムベシ

四 凛然トメ思寒シ。邪氣イマダ解セズ。中焦ニ
結ブ。血脉ヲ通シテ。其介疾ヲ散ズルハ。長ト
イヘ。尚治スベシ。○ 産安カラズ

五 妖時神胎ノ良治ヲ得ヤレハ。屬シ。邪氣皆盡
盡毒メ。敗壞ノ時トス。深ク慎テ固守シ。妖媚ノ
女色ヲ遠サタ。傍人ノ巧言ニ惑ハズ。治方ヲ得
到。陽ノ災ヲ免ルベシ。

上 邪ニ感ズルヲ深クシテ。恍然トメ曉ラズ。終ニ危
屬ノ候ニ至ラン。慎テ治方ニ就クニ。長ト云ヘドモ
愈候ヲ得シ。胎動連シヤシトス。急カニスヘカラズ。



渙

散結寒ノ時ニ治スヘシ。五レハ新久及シ。ノ
卦ニヨリテ決意スル。胎動ノ時ヲ得テ治ス。

風水上下行ク。氣血流通ノ象アリ。然レモ又流散ノ
義アレバ。至誠ヲ尽シテ。神明ニ感格シ。名手ノ
治方ヲ索ムベシ。或ハ宗氣ツカレテ。腎部ノ精氣

ナシ腰痛、痛氣、膀胱ニ汚濁ノ血變結ニテ痔淋
消渴、不皆脩身ノ不正ヨリ歎證ヲナス。祖先ヲ祭リテ
氣運ノ暢達ヲ祈ルベシ

初 邪氣イマタ深レトモ、早ク治方ニ就カバ本復スル
然レモ丹傷ノ痛ハ治候ハカリガタシ○産安シ

二 陽氣薄ク、脾胃虛スルモノハ危厄トス○胎弱
安シ、太レモ産前ノ身持ニ因ルベシ

三 鬱結、沉憂ノ時、更ニ外來ノ一症ヲ添テ危
險ナリトス、長引テ治効ヲ得カタレ○産平

四 攻時、草邪、渙散シテ、元陽來復シ、將ニ分
治スベシトス、然レモ治法相應モヤク、却テ憂悶氣隔

鬱症ヲナシ、或ハ毒瘡腫疼、ミ、悉ヒガタキナド

五 邪氣壅滯メ疾ヲナシ、上部ニ結ビ、或ハ澁汗メ
陽氣ヲ脱シ、或ハ溲下メ小腹カラナキナド、小兒ノ

諸病用心スレシ。以又吉山治所ナリ。産平

上血脈流通セズ。鬱結聚凝シ。一經病器トナル。

沉痾奇病ノ類ニメ。治スルヲ速シ。○胎弱乎ナリ。

或ハ胎衣ヒカヘ。又雙生ノイアラシ



呻

都及ニ感ズレテ深ク。骨節ニ入り。或ハ骨節トシ
心氣ナラズ。寒熱ナク。或ハ持病ナリ。不治ノ症ナリ

時氣不正ノ感冒ヨリ。治方節ナラズ。油断シテ邪氣

攻レ。薑蒸シテ灌レ。好テ。腎節。痔漏。濕毒。下

支テ。嘔吐。咳逆。或ハ食傷。又ハ酒色ニ存損。或ハ傷寒

中著。淫腫。或ハ勞瘵ナド。種々ニ變證シ。病因在噴

偏志。節宜ヲ忘レ。自井自暴メ。危屬ヲ招ク。噴テ固ク

守リ。元陽ヲ生育ス。○胎弱ナヤヒアレビ。障イナレ

物口養美毒。病因ヲナシテ。漸々陰陽ニ趣カントス。

治療取要ナリ。○臨産違シ

二吉山機微ノ間ニナリ。早ク居所ヲ轉シ。暴ノ

改六治ス。○胎孕子ハ安ク。母安カラザルノ患アリ

三 病状大ニ動クト云レ。治候トス。若シ少シニテモ

不養生アレバ。臍ヲ嚙ノ悔アリ。太切ニメ本復スベシ

或ハ毒着漬レ。癆膿スルカ。○産邊ト云ハシラン

四 治方油断スベク。又機ヲ過ルニ愈候ノ失ヒ

長病トナク。○胎孕少シ滞リアラン

五 肺肝腎比ニ傷レ。氣血不順ニメ指テス

食化セズ。思慮不定。又決断ナク。病態重ク尚テ

益々進マン。○胎孕ヲ養スレバ。安シト告

上 病邪爰ニ至リ。節ヲ失ヒテ窮マリ。困苦スレノ

時トス。今テ前導ニ圖ル。變シテ申ヲ得ルノ治方ナキ

代ハ危険トス。○産平ナリ

外剛健ニテ外産集。其氣則チノレノ傷也。胎氣弱ニテ難治ノ症也。世ナリ。余ハ治スレバ

其性質実スト云レ。邪氣満溢メ。元氣虚耗ノ象アリ。

或ハ好息ノ情ヨリ、勞苦シテ氣虛シ、又ハ嗜慾ヲ
セズ、或ハ謀慮ニ屈レテ肝血ヲ涸シ、諸般ノ病因
且善クフニアラス、最危疾トス。○胎弱安ト云ハ、心ヲ
用ユベシ

初治療速キル宜シ、息ハ速ケバ、復ニガクシ、胎安

二病占山地、爰シ、日増ニ進ミ長セシトス、或ハ何トナク
胎々、胎々トメ、心細ク、顛ニ少ナキナド、胎安ノ神カラ

索々シ、或ハ乳病ナド、胎弱安シ

三救治手伸ニテリテ、動止衰、衆常ナク、胎氣弱シ

肝邪光シ、心氣弱、胎塞ノ極地ニシテ、傾覆ノ怖レアリ

トシ、至テ危重トス。○產平ナリ、少シニ違カラシ

四歎時、膈ヲ冷ス程ノ症候ニテ、危篤ニ至リ、神昏

妙助ヲ得バ、因ク脱セン。○胎弱安シ

五邪氣上部ニ壅塞シテ、鈞リ上ラシ、如ク、或ハ頭痛

強ク眼暗ク或ハ角弓反張トドノ劇候ニテ、股離ノ
衰アラントス

上邪疾神ヲ攻テ、元氣將ニ飄揚セントス、此時若

一臭ノ不用意トス、鬼録ヲ免カレガタカラシ、胎動

安カラズトス



小過

血熱毒行ノ濕邪深ク或ハ積塊発物シテ
安カラズ、氣陷水腫又ハ隱處ノ諸病又ハ難ナド

陽氣陷イリテ神々邪氣騰逆メ上衝シ、思慮

決セス、萬事身一ヲニ迫マリ、困苦ニ堪ヘズ、或ハ瘧疾

大小結胸、又ハ旬月痔、飲食停滯、或ハ狂躁、又ハ

眼疾、鼻口便毒ノ類、危重ト云ル、陽明中實ノ

象アレバ、治候ヲ得ベシ、○胎動平ナリ

初急治ヲ求メテ、證ニ對セサル、猛劑ヲ服シテ、

反テ増劇シ、自ラ凶ヲ招クナド、○産平

二神氣憤シテ、邪氣益々暴リ、攻所被處ニ移リ

動ヒテ病状定マラズ長シトス○産平

三脚氣又ハ風濕ナド戒慎ノ怠リナリ令變テ

トス住居ヲ轉メ藥用セバ治驗マラシ○胎動安

四病疾シキリニ暴暴進シテ危長トス治方ヲ得

カタシ○胎動平ナレバ邊シ

五邪氣上騰メ真氣薄ク危険ノ時トス陽氣

ヲシテ下ニ回ラシ脾胃ヲ實スルノ手段專要ナリ

○胎動安シトス

上既ニ治候ヲ失シ上ニ余症ヲ招キ來シテ凶厄ノ

時トス慎ムニ○産ハ平ナリ

☰

既濟不治ノ症トスレバ大才月日ノ久キヲ避
セハ治方アリシ以初本交錯ノ危候ナリ

坎卦初メ言ニメ終リ乱レ亦坎水沸騰レテ離火

消滅ノ象アリ又元陽丹ニ虛エテ病邪上ニ結ブ

積年ノ弊證ヲ以往衰亡ノ兆トス○胎動平ナリ

初丹指勞役ノ症ニ居ニテカシ。其身ヲ顧ニス。不長
生ニシテ。陰陽マサニ乖異セントス。腹心ニ

二政時心火烈々トシ。腎水凋ト入ト。沈下凶際ナリ。

長ヒカン。治カラスルニ急ナルニ。婦人諸病石スベシ。

○胎動不安カラシ。急カニ求ムルナカレ

三病状安カラズ。治療怠タルヘカラス。日々ニ陰

難ノ容辨ニ進マシ。危長トス。○産平

四政又凶災ニ向ヒ進ムノ意アリナ。安草ノ間ニ

居シ。恐レ憂キノ時トス。終日戒慎メ保護怠ラ

ヘカラス。○胎動不安カラズ

五外邪加ハリ。丹氣益々ツカル。不治ノ證候多シ

トス。○臨産ノ占ハ平ナリ

上邪氣凝結メ。重陰壞亂ノ時トス。長クメ治候ヲ

滑カス。屬ヒ云レ。治路ヲ滑レフアラン。誠ク冬ニ神明

事ハ天ニ祈リテ性命ヲ保ツノ道ヲ得ベシ屬シト云ハ
則チ是聖人起死回生ノ妙訣其旨深キカテ

☵☵

未濟

危急ノ症ニシテ最モ危キト云レ治スハ心ノ虚キヲ
補フニシテ心火ノ盛ニシテ水ノ虚キヲ補フニシテ
心火ノ盛ニシテ水ノ虚キヲ補フニシテ心火ノ盛ニシテ

陰陽交ハクテ氣血升降セズ人心火逆上シ腎水
虚耗スト云レ急知テ治ニヨラズ違誤ノ弊ニ就キ
漸次ニ恢復メ長夜初メテ明ルガ如クナラシ或ハ
少年意氣壯盛ニ暴行禁セズ病ヲ發シテ急ニ

重ク又老成ノ人ハ病状却テ輕ク見ユルコト有レシ
治方忽カセニスベカラズ既濟ト互見スルコト逢平
初病勢進ム如シト云レ治スベシ或ハ湿氣ニ天候
痛スルカ又折身損傷ノ類小兒驚風ナト○胎前
安シト云レ母ノナキニテ防グベシ

二邪氣結シテ解ズ危険ノ時トス○症ハ安シ
三酒色財氣以病根ニメ今急変マラントス慎テ

防ぐレシ。日ヲ經ルキハ治ヲ得ベシ。○胎動安シ

四 危険ヲ出テ。明治ヲ得ルノ時トス。長クケテ治マシ

○胎動安シ

五 邪氣銷燦ス。真氣充實セントス。言行ヲ慎

治方ニ就ク。其ハ意外ニ藥驗アリテ。全治ヲ得ベシ

○弱家平ニメ障リナシ

上 未済既濟シ。氣血循環シ。飲食宴樂セテ

其生フ耐スルノ時。何ノ病アリテ。藥リスルヲアラ

然ルニ生質ノ厚薄ヲ省ミテ。人欲ノ私樂。耽

放心。憂行スルニ至ル。百病競ヒ起リテ。忽マナニ

況病痼疾ノ瘵人トナラシ。治乱憂樂。門ノ開

根ヲ同フス。坎又ヲ得ルモノ。敬告懼ルテ。早ク治カ

索ス。必快復スベシ。胎動平穩ナリ。亦莖客ニ示

戒。懐ク日ニ正道ヲ夫フ。ナカレト云。

古易病斷卷之下終

古易館真木圖章

和二十四日...
...
...

...
...

古易病斷跋

方技之於人用也莫

切乎醫卜矣病則醫

治之疑則卜決以易

理營隱占用至大聖

人死以使人。次嫌疑也。夫人以處愛世重乎身。才之死。甚莫急乎病。然醫對症。適不免有疑。似以歎。函以

先生深悵之。因其師說。引而伸之。著病斷一篇。可謂有切於濟民焉。若以是詹言。謂不藉診察。則於漫

能知毆者也

文政戊辰孟冬東武

二世古易館社長

鮮江瑛白堅謹題

梧桐館東齋欣之書

含章堂藏書目錄

大坂二軒編

藤屋搦本得兵衛

增補醫道便易

一

增訂醫道便易大成

二

古易察病傳

一

古易占病軌範

二

古易病斷

二

古易病筮格

二

圖說

三才窺管

三

三才發秘抄要

二

圖說
家相大全
和清東嶽著
卷之三

家相秘錄
及的靈明著
卷之三

全
廣
解
同著
卷之三

家相全書
卷之三

全
故
曆
傳
同著
未刻

全
早
合
點
牧摺

家
相
手
引
草
未刻

家
相
本
義
生應義人著
未刻

風
水
問
答
明牧文秋
地理正言

八
宅
明
鏡
救
會
通
卦
選
要
二

黃
帝
宅
經
明村山說
未明秋

八
宅
明
鏡
便
覽
一
牧摺

方
位
宅
相
三
才
精
義
明村山說
未明秋

方
家
圖
說
賀成之著
卷之三

地
理
山
法
風
水
秘
錄
同著

初
學
天
文
指
南
明村山說
未明秋

量
地
指
南
明村山說
未明秋

天
文
圖
解
明村山說
未明秋

全
後
編
同著

渾
天
新
語
明村山說
未明秋

古今算法記 江戶元治 六

漢隸字源 五

隸辨 魏四始纂校 二

楷書千字文 烏石先生書 二

長命衛生論 本并三 三

相傳聚園筆草 江戶元治 二

芭蕉袖巾帛 江戶元治 三

狂奇 江戶元治 二

仇討山分衣 二

源平盛衰記 江戶元治 四十八

文政酉八年正月再刻

東郡日本橋通

前川六左衛門

尾張名古屋本町通

永樂屋東四郎

大阪高殿橋通

藤屋彌兵衛

全心齋橋通

藤屋得兵衛

發弘
書林

二冊

長下

書林

錢氏

全公書林
蘇軾詩集

蘇軾詩集
蘇軾詩集

蘇軾詩集
蘇軾詩集

蘇軾詩集
蘇軾詩集

文類四百八十五
五民再陳

